



平成 22 年 10 月 8 日

各 位

会社名 株式会社竹内製作所  
 代表者名 代表取締役社長 竹内 明雄  
 (JASDAQ・コード 6432)  
 問合せ先 取締役経営企画室長 神山 輝夫  
 電話番号 0268-81-1100 (代表)

平成 23 年 2 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と決算値との差異及び通期の業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 7 月 9 日付「平成 23 年 2 月期第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ」において発表いたしました平成 23 年 2 月期（平成 22 年 3 月 1 日～平成 23 年 2 月 28 日）の第 2 四半期累計期間の業績予想と本日公表の決算値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、通期の業績予想並びに配当予想につきましても修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 平成 23 年 2 月期 第 2 四半期累計期間業績予想と決算値との差異

(平成 22 年 3 月 1 日～平成 22 年 8 月 31 日)

## (1) 差異の内容

## 【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	17,720	△260	△570	△710	△43.47
決算値 (B)	18,373	269	△451	△636	△38.95
増減額 (B—A)	653	529	119	74	—
増減率 (%)	3.7	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 2 月期第 2 四半期)	10,454	△31	817	885	55.34

## 【個別】

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	14,410	△890	△1,120	△1,130	△69.19
決算値 (B)	15,401	△594	△1,125	△1,137	△69.62
増減額 (B—A)	991	296	△5	△7	—
増減率 (%)	6.9	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 2 月期第 2 四半期)	—	—	—	—	—

(2) 差異が生じた理由

【連結】

建設機械事業において米国での需要の増加により販売台数が増加したことなどから、売上高は予想よりも6億5千3百万円増加し183億7千3百万円になりました。

利益面では、売上高の増加と販売費及び一般管理費が予想よりも減少したことなどにより、営業利益は2億6千9百万円（予想は2億6千万円の営業損失）になりました。しかし、第2四半期末の外国為替レートが予想よりも円高になったことにより、営業外費用において、外貨建債権などの為替差損が予想よりも4億2千6百万円増加し7億4千9百万円発生したことから、経常損失は4億5千1百万円（予想は5億7千万円の経常損失）になりました。第2四半期累計期間の四半期純損失は、予想よりも7千4百万円減少し6億3千6百万円になりました。

【個別】

売上高は上記の連結と同様の理由により、予想よりも9億9千1百万円増加し154億1百万円になりました。

利益面では、売上高の増加と販売費及び一般管理費が予想よりも減少したことなどにより、営業損失は2億9千6百万円減少し5億9千4百万円になりました。第2四半期末の外国為替レートが予想よりも円高になったことにより、営業外費用において、外貨建債権などの為替差損が予想よりも3億2千3百万円増加し5億7千6百万円発生したことから、経常損失は5百万円増加し11億2千5百万円になりました。第2四半期累計期間の四半期純損失は、予想よりも7百万円増加し11億3千7百万円になりました。

2. 平成23年2月期 通期業績予想の修正(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(1) 修正の内容

【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	百万円 32,970	百万円 △320	百万円 △630	百万円 △850	円 銭 △52.05
今回修正 (B)	33,630	△590	△1,350	△1,720	△105.31
増減額 (B-A)	660	△270	△720	△870	—
増減率 (%)	2.0	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成22年2月期)	23,199	△482	△131	△205	△12.73

【個別】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	百万円 26,550	百万円 △1,200	百万円 △1,370	百万円 △1,400	円 銭 △85.72
今回修正 (B)	28,320	△1,780	△2,060	△2,090	△127.97
増減額 (B-A)	1,770	△580	△690	△690	—
増減率 (%)	6.7	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成22年2月期)	12,313	△1,566	△1,072	△701	△43.42

## (2) 修正の理由

### 【連結】

現状の外国為替相場の状況を勘案し、業績見通しの前提としている外国為替レートを変更しました。第3四半期以降の外国為替レートは、1米ドル=85円、1英ポンド=132円、1ユーロ=112円、1人民元=12.6円に変更しました。(前回予想は、1米ドル=90円、1英ポンド=135円、1ユーロ=112円、1人民元=13.3円)

売上高は上記の第2四半期累計期間の修正の内容と同様の理由により、前回予想よりも6億6千万円増加し336億3千万円になる見通しです。

利益面では、売上高が増加するものの外国為替レートが前回予想よりも円高になる予想から営業損失は前回予想よりも2億7千万円増加し5億9千万円になる見通しです。営業外費用において、円高により外貨建債権などの為替差損が前回予想よりも4億5千6百万円増加し7億7千9百万円発生することが見込まれることから、経常損失は7億2千万円増加し13億5千万円になる見通しです。当期純損失は、前回予想よりも8億7千万円増加し17億2千万円になる見通しです。

### 【個別】

売上高は上記の第2四半期累計期間の修正の内容と同様の理由により、前回予想よりも17億7千万円増加し283億2千万円になる見通しです。

利益面では、売上高が増加するものの外国為替レートが前回予想よりも円高になる予想から営業損失は前回予想よりも5億8千万円増加し17億8千万円になる見通しです。営業外費用において、円高により外貨建債権などの為替差損が前回予想よりも1億9千1百万円増加し4億4千4百万円発生することが見込まれることから、経常損失は6億9千万円増加し20億6千万円になる見通しです。当期純損失は、前回予想よりも6億9千万円増加し20億9千万円になる見通しです。

## 3. 配当予想の修正について

	年間配当金 (円)				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計
前回予想 (平成22年4月14日発表)	—	0.00	—	(未定)	(未定)
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00			
前期(平成22年2月期)実績	—	0.00	—	0.00	0.00

### (1) 配当予想修正の理由

平成23年2月期の期末の配当予想につきましては、未定とさせていただいておりましたが、上記の通期業績予想の修正に伴い、配当予想の修正を行うものです。

### ※ 業績予想等の適切な利用に関する説明

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上